

汚水を出さない灰皿で持続可能な世界への第一歩

レンタル商品

人と環境にやさしい喫煙空間づくり

環境改善灰皿 CUA-1

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質および土壌の汚染による死亡および病気の件数を大幅に減少させる。



2025年までに、海洋ごみや富栄養化など、特に陸上の人間の活動によるものをふくめ、あらゆる海の汚染をふせぎ、大きく減らす。

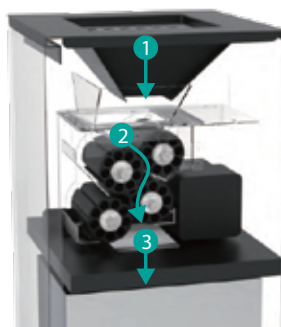


独自の無水消火技術

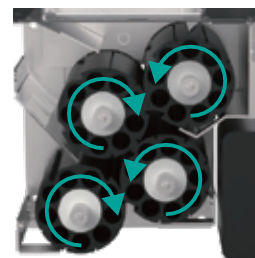
タバコの消火に一切水を使いません。

4つのゴムローラーがタバコをゆっくり押しつぶし、約40秒で完全消火。

2500台以上の運用実績！
無事故・ノークレーム、ノントラブルの実績。



ゆっくり押し潰して
約40秒で完全消火



無水圧縮の特徴

01. タバコのケムリを大幅に削減
水に浸かった吸いがらの嫌な臭いが発生しない
02. 清掃作業の軽減によるコストダウン
袋に溜まった吸いがらを捨てるだけ
03. タバコの汚水がゼロに
水を使用しないので有害物質も発生しません。



水灰皿 無水圧縮式灰皿 消煙灰皿

煙量が少ないから臭いが少ない

灰皿をアクリルケースにそれぞれ入れ、灰皿上に測定器を置き火のついたタバコを投入し消火～10分後の煙量を測定しました。

煙量検証	1分後	3分後	10分後
無水圧縮式灰皿	3.5	4.5	5.6
消煙灰皿	81	91	100
水灰皿	21.2	22.7	23.3

水を使用しないので有害な汚水が出ない

吸殻を浸けた水のニコチン量は約1時間で小児の致死量を超え、24時間で約6倍になる

燃焼したタバコを一定量の水に浸け、24時間静置後に試験水を測定。
※東京23区内の下水排除基準値において、11項目が基準値を超過する定量値が得られた。

- 生物科学的酸素要求量 (BOD)
- 浮遊物重量 (SS)
- アンモニア性窒素
- フェノール類
- 亜鉛及びその化合物
- 亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量
- 窒素含有量 (全窒素)
- シアン化合物
- 揮発性動植物油脂類
- 燐含有量
- 沃素消費量



清掃の手間を削減

従来型は汚水と水を吸った吸殻を分けて処理、新しい水の補充、灰皿も定期的な清掃が必要でした。

無水圧縮式は水が不要になり、ゴミ袋に溜まった吸殻を取り出して捨てるだけで清掃の頻度従来の7分の1程度ですみます。

約7倍の吸殻収納力

※水灰皿は吸殻が水を吸い膨張するので同じ体積比で約7倍の吸殻収納力

種 類 別 比 較	無水圧縮式灰皿	消煙灰皿	水灰皿
消火イメージ			
吸殻容量	1,500本	約300本	約100本
におい抑制効果	◎	無し	無し
吸殻処理方法	ゴミ箱に袋をかけてそのまま廃棄	ゴミ袋に移し替える 完全消火するため定期的に霧吹きが必要 BOXの清掃が必要	ザルで濾し、吸殻と水を分ける 吸殻は乾燥させ、汚水は凝固剤で固める BOXの清掃が必要
吸殻処理作業時間	約40秒	約5分	約7分

付属マグネット

SDGsへの参加をPRできるマグネット付き



お問い合わせ